

コロナ禍のもとでも、生徒のいのち・健康を守れる学校を！

「教職員の抜本的増員、養護教諭複数配置の拡大」を緊急申し入れ

府高教は3月19日、府知事・教育長宛て緊急要請書「コロナ禍のもとでも、生徒のいのち・健康を守れる学校を！ 教職員の抜本的増員、養護教諭複数配置の拡大を求めます」を養護教員部長と連名で提出しました。現場から養護教員2名も参加し、府教委に対し、コロナ禍での学校の実態、「養護教員アンケート」に寄せられた声を伝えながら、「府立高校の教職員を抜本的に増員すること」「養護教諭の配置にあたっては、複数配置を維持、拡大すること」の2点を申し入れました。また、同日に大阪教育記者クラブで記者会見を行い、在阪メディア各社に対し、今回の緊急申し入れの報告、学校の実態と養護教員複数配置の拡大をうったえました。



緊急要請書



要請書を手交する委員長、養護教員部長 緊急申し入れの報告（記者クラブ）

大幅削減はゆるせない 今こそ教職員増で学校の安全安心を

府教委は、2月18日に教育庁予算案を公表し、「教職員加配の大幅削減（約300人）」、「養護教員の複数配置校の削減（66校→47校）」を計画しています。「安心安全な学校」を掲げながら、この計画は逆行するものです。特に養護教員の複数配置校の大幅削減について、学校現場では、不安と強い怒りの声が高まっています。現在「置くことができる」職とされている高校の養護教員は国の責任で必置とし、大阪府は独自財源ですみやかに複数配置を維持拡大すべきです。

引き続き「養護教員アンケート」、「職場決議」のとりくみをお願いします！

緊急に提起した養護教員部アンケートは、これまでに約50名の養護教員から回答がありました。教員増を求める「職場決議」のとりくみについても、入試前後にもかかわらず16職場から決議の報告があり、職場の意思形成が広がっています。「会議後に職場集会を行った」「レターケースに決議案を入れて意見を集めた」など職場での工夫も報告されています。府高教は引き続き、全力を挙げます。みんなでとりくみをすすめてみましょう。

＼＼「仕方がない」をみんなで変よう あなたも府高教へ！ 〳〳